

エコアクション21

環境経営レポート

2021. 6. 1~2022. 5. 31



2022年6月23日作成

株式会社 鹿 熊 組

目 次

1. 環境経営方針
2. 事業内容
 - 1) 事業所名及び代表者名
 - 2) 所在地
 - 3) 環境管理責任者及び担当者
 - 4) 事業内容
 - 5) 事業規模
3. 活動組織
4. 環境経営目標
5. 環境経営活動の取組結果と評価
 - 1) 環境経営への取り組み
6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無
7. 代表者の評価と見直し

環境経営方針

【環境経営に対する基本理念】

当社の経営姿勢は常に堅実性に重点をおき、誠実・情熱・技術の三本の柱で様々なお客様のご要望にお応えすることをめざしてまいりました。

当社が長年にわたり蓄積してきた技術力を活かし、三本の柱の元で、環境負荷の発生を可能な限り軽減して、自然環境の維持・改善・向上・保護を目的とした持続的活動を行うことにより人類共通の課題である環境問題に取り組んでまいります。

【環境経営方針】

- ① 省エネルギーに努めて、温室効果ガスの発生を可能な限り抑制いたします。
- ② 当社の事業活動に伴い発生する産業廃棄物及び建設副産物の発生抑制・削減・リサイクルに取り組めます。
- ③ 環境に配慮した製品・サービスの提供に努めます。
- ④ 事務用品のグリーン購入への取り組みを行います。
- ⑤ 節水に心がけ水資源の有効活用を行います。
- ⑥ 環境関係法規制を遵守します。

これらについて環境目標・活動計画を定め、全従業員に周知し実行します。
定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めてまいります。

制定
改訂

2021年6月20日

長野県長野市大字鶴賀緑町
1631番地3号

株式会社 鹿熊組
代表取締役社長

鹿熊 聡

2. 事業内容

1) 事業所名及び代表者名

株式会社 鹿熊組
代表取締役社長 鹿熊 聡

2) 所在地

本 社 長野県長野市大字鶴賀緑町1631番地3号
機材センター 長野県長野市真島町川合北宮島2036番地

3) 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者		鹿熊 弘
環境管理担当者	管理部	鹿熊 弘
	土木部	田中栄一
	建築部	内川隆明
	環境管理事務局	管理部 鹿熊 弘
連絡先	TEL	026-235-3311
	FAX	026-235-3315
	HP	http://www/kakumagumi.com
	E-mail	info@kakumagumi.com

4) 事業内容

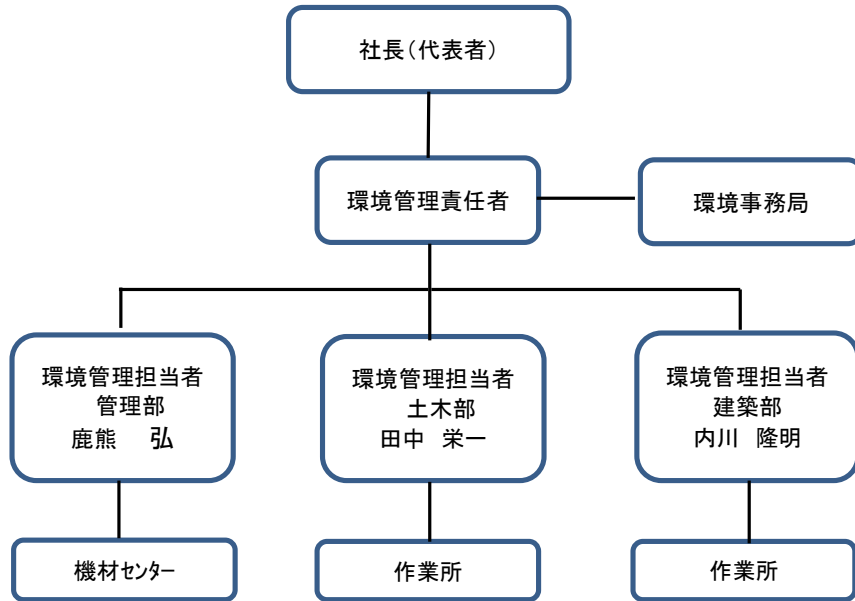
総合建設業 許可番号 長野県知事 許可(特-26)第22710号

建設業の種類
土木、大工、石、管、鋼構造物、しゅんせつ、
防水、造園、建築、とび・土工、屋根、
タイル・れんが・ブロック、舗装、塗装、
内装仕上、水道施設工事業

5) 事業規模

完成工事高		
60期	2,177百万円	(2018年6月1日～2019年5月31日)
61期	3,017百万円	(2019年6月1日～2020年5月31日)
62期	4,055百万円	(2020年6月1日～2021年5月31日)
63期	1,743百万円	(2021年6月1日～2022年5月31日)
従業員数	87人	
本社床面積	1132.1m ²	
機材センター床面積	5963.6m ²	

3. 活動組織



責任者	役割・責任・権限
社長（代表者）	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者・部門担当者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・環境活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理、 環境関連法規等の取りまとめ票を承認 環境目標・環境活動計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境活動レポートの確認 環境事務局の設立、担当者の任命
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境目標、環境活動計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
環境管理担当者 (部門長)	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの計画・実施 自部門における環境方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 教育、訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 環境活動の内部コミュニケーションの実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 環境活動の具体策の提案、活動状況の定期報告 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境経営目標

2020年(62期)の実績値を基準値とし、2021年の1年間の目標値、活動計画及び具体的施策を下表の通り策定した。

	目標値	目標達成に向けての計画・施策
二酸化炭素削減	電力の削減 基準年度実績 276,824 kWh 2020年度 排出係数0.426 127,892 kg-CO2 使用する二酸化炭素排出係数: 0.426 2021年度目標 275,440 kWh 基準年度比 99.5% 削減率 -0.5% 目標値 127,253 kg-CO2 ※設定目標値については年度ごとの売上高比により変動有 2022年度目標 前年比-0.5% 99.0% 2023年度目標 前年比-0.5% 98.5%	1. 空調温度の適正化(冷房25度暖房20度) 2. 時間帯消灯・機器電源OFF(昼休憩・外出時等) 3. 時間帯消灯・機器電源OFF(休日・夜間) 4. 効率化による残業・休日出勤削減 5. 空間利用(在室人員のまとまり)の工夫 6. 省電設定、省電機器の導入の追加検討 7. 社内ルールの遵守(制限・約束) 中期計画 1. 前年手段の継続・改善 2. 前年検討事項の実施への取組 3. 社員行動の不良部の改善 4. 残業・休日出勤の削減 5. 更なる向上のための手順改善 6. 社内ルールの遵守
	燃料の削減 基準年度実績 2020年度 ガソリン 52,847 ℓ 軽油 99,472 ℓ 灯油 15,099 ℓ 年 410,149 Kg-CO2 2021年度目標 基準年度比 99.5% 削減率 -0.5% 目標値 408,098 Kg-CO2 ※設定目標値については年度ごとの売上高比により変動有 2022年度目標 前年比-0.5% 99.0% 2023年度目標 前年比-0.5% 98.5%	(通勤・移動車両) 1. エコドライブの導入 2. 日常点検の励行 3. 相乗りの推進 4. 運行経路の適正化 5. 省エネ車両への交換(性能低下車の入替) (重機械) 1. アイドリング時間の短縮 2. 休憩時間のエンジンストップ 3. 過剰負荷の軽減 (輸送) 1. 共積みの励行 2. 配送経路の適正化・集約化 (設備) 1. 定期点検の励行 中期計画 1. 前年手段の継続・改善 2. 重点事項の推進 (重点事項) ・エコドライブの励行 ・省エネ車両への交換の推進 ・関係会社の協力による適正機械の使用促進 ・作業手順の適正化による過剰負荷の軽減 ・作業所間調整による運行経路の適正化による走行距離の短縮 ・省エネルギー型機器の導入の可能性の検討 ・新規改善策の検討
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減 基準年度実績 2020年度 6,800 kg 2021年度目標 基準年度比 99.5% 削減率 -0.5% 目標値 6,766 kg ※設定目標値については年度ごとの売上高比により変動有 2022年度目標 前年比-0.5% 99.0% 2023年度目標 前年比-0.5% 98.5%	(全般) 1. 分別の徹底・混合廃棄物の削減 2. 分別ボックス・スペースの確保 (減量) 1. データベース化の促進 2. 書類の簡素化の推進 3. 両面コピーの促進 4. ミスコピー・ミス印刷の減量 中期計画 1. 前年手段の継続 2. 重点事項の推進 (重点) ・不良者の発見と指導 ・周知・徹底 ・整理整頓 ・工夫及び意識改革 ・手順の改善(社内資料) ・保管書類の削減(保管基準、保管方法)
	産業廃棄物の削減・リサイクル化 基準年度実績 2020年度 6,716.90 t 2021年度目標 基準年度比 99.5% 削減率 -0.5% 目標値 6,683.32 t ※設定目標値については年度ごとの売上高比により変動有 2022年度目標 前年比-0.5% 99.0% 2023年度目標 前年比-0.5% 98.5%	(全般) 1. 分別の徹底・混合廃棄物の削減 2. 分別ボックス・スペースの確保 3. 周知・徹底 (リサイクル促進) 1. 意識の高揚 2. 廃棄物に関する知識の向上 3. 本社廃棄物の重量測定～社内への通知・減量促進 中期計画 1. 前年手段の継続 (全般) 2. 分別ボックス・スペースの必要な改善 3. 周知・徹底のための再教育 (リサイクル促進) 1. 意識の高揚のための再教育
水資源使用量削減	水道水の削減 基準年度実績 2020年度 1,847.0 m ³ 2021年度目標 基準年度比 98% 削減率 -2% 目標値 1,810.06 m ³ ※設定目標値については年度ごとの売上高比により変動有 2022年度目標 前年比-2.0% 96% 2023年度目標 前年比-2.0% 94%	(本社) 1. 自動給水装置の水量調整 2. 節水の励行の周知・徹底のための社員教育 (作業所・機材) 1. 用水利用の促進 2. 雨水利用の促進 中期計画 1. 前年度の継続 (作業所) 1. 洗車回数の制限 2. 循環型の導入等による再利用の促進





環境配慮資材購入	<p style="text-align: center;">目標値</p> <p>事務用品のグリーン購入</p> <p>2020年度 購入品設定品目の維持 2021年度目標 今年度実績により 設定変 2022年度目標 更</p>	<p style="text-align: center;">目標達成に向けての計画・施策</p> <p>1. 優先購入決定品の維持 2. グリーン購入品数の増加</p> <p>中期計画 1. 前年手段の継続・改善</p>
	<p style="text-align: center;">環境配慮型建設材料、工法の提案・実施</p> <p>基準年度実績 提案率 2020年度 実績調査不能</p> <p>2021年度目標 官庁・民間工事創意工夫 = 施工・材料提案 実施50%</p> <p>※設定目標値については年度ごとの受注高により変動有 2022年度目標 年度ごとの実績により 2023年度目標 設定変更します</p>	<p>1. 設計、見積案件においての、環境配慮型材料・工法・設備の提案のための基準作成 2. 上記について提案の実施 3. 熱意を持った働きかけ 4. 官庁・民間工事(環境配慮)創意工夫・ボランティア活動等の実施</p> <p>中期計画 前年手段の継続・改善</p>
製品への環境配慮		

5. 環境経営活動の取組結果と評価

1) 環境経営活動の取組結果

※排出係数62期、63期は0.426で計算

項目	区分	管理種別	単位	62期実績(昨年)	63期目標	63期実績	対目標比率	評価	活動評価
電力の削減	本社・機材	使用量	kwh	80,893	80,489	78,731	97.8%		社員の節電への意識は、非常に高く、各現場できる限りの取組を行っている。 米期、二酸化炭素排出係数0の再生エネルギープランへ変更を検討している。
		C02換算値	kg-C02	37,373	37,186	33,539			
	作業所	使用量	kwh	195,930	194,950	201,058	103.1%		
		C02換算値	kg-C02	90,520	90,067	85,651			
合計	C02換算値	kg-C02	127,892	127,253	119,190	93.7%			

項目	区分	管理種別	単位	62期実績(昨年)	63期目標	63期実績	対目標比率	評価	活動評価	
削減燃料(1)	ガソリン	使用量	リットル	45,288	45,062	48,264	107.1%		○ガソリン 昨年に比べると、遠方現場が多かったため、ガソリン使用量は、増加している。今後とも、エコドライブの励行・現場乗合により使用量減少を心掛ける。	
		C02換算値	kg-C02	105,068	104,543	111,972				
		作業所	使用量	リットル	7,559	7,521	7,895			105.0%
	軽油	本社・機材	使用量	リットル	6,868	6,834	789	11.5%		○軽油 下請企業との契約において、外注工事費(燃料込み)としているケースも多い為、燃料費軽油においては比較が非常に難しいのが現状である
			C02換算値	kg-C02	17,719	17,631	2,036			
		作業所	使用量	リットル	92,604	92,141	71,923	78.1%		
	灯油	本社・機材	使用量	リットル	1,546	1,538	2,368	153.9%		○灯油 灯油の使用量が非常に多い。 本社においては、暖房として使用している。 作業所においては、暖房器具へ使用・コンクリート養生にて使用している。例年の比べ、積雪が多く寒かったことが要因である。
			C02換算値	kg-C02	3,850	3,830	5,896			
		作業所	使用量	リットル	13,553	13,485	19,639	145.6%		
	都市ガス	本社・機材	使用量	m3	10,904	10,849	11,094	102.3%		例年並みの使用量である。
			C02換算値	kg-C02	23,553	23,435	24,740			
		合計	C02換算値	kg-C02	37,597	37,409	54,796	146.5%		

項目	区分	管理種別	単位	62期実績(昨年)	63期目標	63期実績	対目標比率	評価	活動評価
C02排出量の削減	本社・機材	C02換算値	kg-C02	187,562	186,624	178,183	95.5%		軽油の使用量減少に伴い、大幅に排出量を削減できている。 C02排出量グラフにより過去5年での大幅な減少が確認できる。
		作業所	C02換算値	kg-C02	380,721	378,818	338,428		
	合計	C02換算値	kg-C02	568,284	565,442	516,612	91.4%		

項目	区分	管理種別	単位	62期実績(昨年)	63期目標	63期実績	対目標比率	評価	活動評価
水使用量の削減	水道・下水道	使用量	m3	896	878	1,092	124.4%		○大きな解体工事があり、粉じんの飛散防止や清掃などの為に工事にて大量の水を使用した。 ○本社においては、使用料は多い。
		水道	使用量	m3	951	932	1,499		
	合計	使用量	m3	1,847	1,810	2,591	143.1%		

項目	区分	管理種別	単位	62期実績(昨年)	63期目標	63期実績	対目標比率	評価	活動評価
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物	コピー用紙	kg	6,800	6,766	5,720	84.5%		○一つの現場にて、混合管理廃棄物が非常に多かった。その為、今期の混合廃棄物構成率は、非常に高い水準である。混合廃棄物については、今後も可能な限りの3R活動の推進を図り、確実な分別による混合型の廃棄物の削減についてもその努力を継続する。
		産業廃棄物	全体量	t	6,732	6,698	10,494		
	再生不可率	%	0.39%	0.39%	4.83%	1238.5%			

グリーン購入品について	環境配慮型建設材料、工法の提案・実施
環境に配慮した「紙」でできたファイルを社内全体で商品購入を検討している。文具等においては、環境対応商品を中心に今後も選定をしていく。	作業所において国土交通省の新技术NETISに登録のソーラーシステムハウスをレンタルする等、C02削減・有毒排気ガス削減に向けた努力をしている。今後も、NETIS登録の機械活用等検討していく。 今期、循環式手洗器を使用している。



鹿熊組エコアクションへの取り組み



除雪作業の様子



現場周辺清掃の様子



休憩所にて使用する照明・パソコン・冷暖房その他の電源は、ソーラー発電を利用し自然エネルギーの活用に努めた。



地下水利用し
水の使用の抑制



環境配慮型発電機の使用により
油流出防止の実施



鹿熊組エコアクションへの取り組み



園児との交流会



学生インターンシップの様子



長野工業高校生徒を招待し、



社内での取り組み
分別の徹底



社内での取り組み
節水ポスター



元の梁を再利用した
つち茂物産新築工事



鹿熊組エコアクションへの取り組み



21世紀の長野を彩るにふさわしい商業施設のあり方をお客様とともに考え、一貫した取り組みを行っていきます。



若穂牛島・四ツ屋護岸災害復旧



木島護岸工事

公共公益性の高い事業活動に取り組み、快適な地域基盤づくりをお手伝いしています。



 ARCHITECTS STUDIO JAPAN
NAGANO STUDIO

注文住宅、戸建新築住宅、増改築・リノベーション、医療施設、マンション・収益物件、店舗・商業施設、エコ住宅、セカンドハウス・別荘、高齢者向け住宅など様々な分野で建築家との家づくりをすることにより、お客様のご希望に副った家を実現します。

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

1. 環境関連法規の遵守状況

法規制等の名称	該当事項	要求事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	<ul style="list-style-type: none"> ・保管場所の基準の遵守、保守(保管施設、囲い、掲示板等) ・収集運搬許可の確認 ・収集運搬者、処理業者との契約締結 ・マニフェスト発行、管理 ・マニフェスト保管(5年間) ・産廃管理計画書・報告書の提出(毎年6月) ・車輛への表示 	遵守 違反なし
資源の有効な利用の促進に関する法律	建設工事における再生資源の利用促進	・再生資源利用計画書・実施書の提出	遵守 違反なし
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	建設特定資材廃棄物の再資源化	・再生資源利用計画書・実施書の提出	遵守 違反なし
騒音規制法	指定地域内の特定建設作業に伴う騒音	・特定建設作業は届出	遵守 違反なし
振動規制法	指定地域内の特定建設作業に伴う振動	・特定建設作業は届出	遵守 違反なし
水質汚濁防止法	油脂を含んだ水の排出	・事故により油を含んだ水が公共用水域に排出された場合は応急処置を施すと共に県知事へ届出	遵守 違反なし
大気汚染防止法	建設機械に関する指針	建設帰化に関する技術指針に則り、排出ガス基準を遵守	遵守 違反なし
フロン排出抑制法	本社社屋ガスヒートポンプ	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易点検(3か月・1回以上) ・定期点検(3年以内・1回以上) ・処分書類確認 	遵守 違反なし
労働安全衛生法	石綿障害予防規則	石綿飛散防止対策マニュアルに則り、石渡ばく露防止の徹底	遵守 違反なし
じん肺法	粉塵障害予防規則	工事により発生する粉塵の抑制・拡散防止・保護具着	遵守 違反なし
グリーン購入法	事務用品の購入	環境物品の調査、購入品目設定・調達	品目調査・設定・調達適切に実施
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律及び政省令	特定自動車の使用制限規則	・規制適合車の使用	遵守 違反なし
消防法 消防法施行令 消防法施工規	油類の流出防止	・保管場所の基準の遵守、保守(保管施設、囲い、掲示板等)	遵守 違反なし

2. 環境関連訴訟等の有無

環境関連訴訟・環境関連苦情等について、この9年発生していません。

7. 代表者の評価と見直し

エコアクション21の取組については、取り組みの検討から取得に至る2年も含めると、早いもので10年が経ちました。

その間様々な工夫と、社員の意識向上がみられた事により、再生資源の活用・化石燃料等資源の有効活用への取組・環境負荷低減への取組により、未来を見据えた持続可能社会への建設企業としての取組が現在進行形で進んでいます。まだまだ工夫、そして当社としてできることがあるはずです。

来期に向け、再生エネルギーの活用による二酸化炭素排出量削減、紙資源の古紙利用・プラスチック製品の減量など、検討を進め少しずつでもより高い目標を目指してまいります。

今期についての振り返りとしては、結果と評価での各コメントにみられる通りとなりました。あまり良好と言える状態ではありませんでした。

産業廃棄物の混合廃棄物構成率について数年前から減少が見込めず悩ましい状態となっています。各作業所では分別を可能な限りすすめてはいますが、減少傾向にならない原因の究明が今後も必要だと考えます。

その他の数値についても、建設という業種の特徴的なところとなるかもしれませんが、本社については大きな使用量の変化がみられませんが、作業所においての各資源使用量について、受注した案件の内容及びその工事の進捗により、大きく数値が変わり前年度との比較がはなはだ難しいのが現状であり、要求事項であるからカウントしているというだけでは取組とは言えないと考えています。どのような取組を進めているのか、その取り組みによる効果がどのような社会的要求を満たすのか、わずかな事が大きな流れとなる様検討を進めていきます。

作業所においては、様々な最新ツールを活用する事により、資源の有効利用に努めている工夫は本年も見られています。

技術の進歩は日進月歩日々進んでいます。最新の技術を有効に活用する事で、持続可能社会への一歩につながると考えています。今後も引き続き取組むことにより、よりよい成果となる様努力を続けていきます。

令和4年6月18日

株式会社 鹿熊組

代表取締役社長 鹿熊 聡